



里川と町屋変電所跡

水の思い出

～18～

「川ガキ 山ガキ」という言葉そのままだった少年時代の私にとって、家の近くを流れる里川は、最も身近で大切な遊び場だった。

冬、その支流・法子沢^{のりこざわ}の上流にできる何本ものツララは、天然のアイスクャンディーに早変わりした。寒さが一層厳しくなり、里川の本流が凍る「シガ」がやって来ると、子ども達は拾ってきた棒切れで我先に水面の氷を割っては大はしゃぎをした。川岸を淡いピンクに染めた桜の花が若葉に変わり、その緑がますます色を濃くする頃はトンボの羽化の時期になる。登校途中で偶然その瞬間に立ち会い、神秘的な生命の不思議に息を殺して見入っては遅刻をした事も、一度や二度ではない。夏の太陽が照りつける下、男の子は皆、漁師に変貌し、川でつかまえた魚の数は、テストの点数よりずっと重要で、宿題の日記に誇らしげに漁獲高を書き込んだりした。秋には大きく育った鮎を食卓に並べて、得意顔をしていたこともあった。

今の子ども達にも、こんな「スローな」時間を体験してもらいたい。五感を刺激することは、心の豊かさと生きる力を育むでしょう。

(根本 敬久)

INTERVIEW

沼田 真知子さん

いつまでもスポンジのような人でいたい

好きでたまらないことが仕事になることほど幸せなことはいないでしょう。ダンスが好きで楽しくて、ついにダンスインストラクターとして自立した、こんなに元気な若者が常陸太田にいたんだとうれしくなるような人に会いました。
(塩原 慶子)



★ダンスを始めたきっかけは？

私、中学は瑞竜中学校だったので、高校の時水戸の高校に進学したら、太田からも同じ中学からも行ってる人がいなくて、誰も知り合いがいませんでした。その時初めてできた友達に「石岡にダンススクールがあるから行かない？」って言われて始めたのが高校一年生の時。身体を動かすことがもともと好きだったんですが、自分が変わったのは中学の時テニスを一生懸命やったからかなあって、今振り返って思います。部活顧問の先生が努力してる人は絶対見てくれる先生で、その先生と出会って、自分で努力するってことがわかったんです。2・3年生の時は顧問の先生が代わって新しい先生とけんかしちゃったりもしました。仕方ないので部員が自分たちで部活の日程を組んで高校の軟式テニス部の先生に教わったりしました。中学生なのに高校まで出かけて行って教わってたなんてすごい子ですよ、

今思えば（笑）。高校に入ってそういうガッツがダンスに向いたんですね。

★ダンスとボランティアが結びついたのは？

多分いっぱい怪我や入院をしたせいです。高校の時に交通事故に遭ったりもして、その時「自分はなんとも思っていない怪我とか障害のことを、周りにはこんなに差別するんだ」というのが解ったんです。私ははたから見たら100%万全じゃなくて7割の身体かもしれないけど、それでも私は踊っていられてダンスを教えることができて、そのことがすごい幸せだと思いました。でもよそでは、私みたいな身体条件でも落ち込んでいたりする人もいるんだろうなって思って、そういう人が「同じ傷を持っていても、あの子は踊ってる」とって観てくれたらうれしい。その人たちもステップアップするチャンスになるかも知れないって思えたんです。

★ダンスや振り付けのヒントは？

いろんないいものを吸収していくのはまず「観ること」です。都内

に出かけたり衛星のTVとかを見たり…。何でもいいんです、ただ人が歩くというしぐさとか、紙がひらひらする動きとか一つ一つの自然な動きでもいい、感性を豊かにしているとそういう何気ない動きからイメージが広がって自分の中に取り込んでいけるんですね。多分、私、人より感性が豊かなんじゃないかな（笑）。だから常にスポンジみたいな人でいようって思ってます。いろいろなことを素直にそのまま吸収できるような人間、悪かったなって思ったらすぐに謝れるとかも含めて柔らかく。意地を張ってたりしたら、本物にはなれないよなって思います。



今年の太田まつりでは、沼田真知子さん振り付けによる“久自^{くじ}楽^ら舞^{まい}祭^{まつり}—あっぱれ！ IN MY DANCE—”が新たに誕生します。久自楽舞祭は、地域において活躍の場が少なくなってきた子供たちのために、「祭り」と踊りを通じて地域の人々や地域の場所とふれあうことで、ひそやかな喜び～想い出の人・思い出の場所～が生まれることを目的として開催するものです。誰でも参加できる新しい夏の祭典に、地域で、学校で、職場で、気の合う仲間と連（チーム）を作って参加してみませんか？

申し込み：常陸太田市役所商工観光課 TEL 72-3111（内線 218）

隠れた常陸太田の名産物『大豆』

太田は昔からおいしい水のでるところ、おいしい水がはぐくんだ農産物のひとつに大豆があります。あまり知られてはいませんが、常陸太田近辺産の大豆は味も収穫量も日本有数といわれています。

タチナガハ

納豆や煮豆に加工すると豆独特の匂いのある種類で、冷凍保存もできます。常陸太田地域で作られた「タチナガハ」は、茨城で一番の収穫があるので、茨城産として日本市場にでているシェアの大部分をしめています。この豆はコンバイン収穫が可能なため多くの量を収穫できるのです。

納豆小粒

豆独特の匂いは弱く、冷凍保存には適していません。匂いが少ないため、豆に昆布やごま、キムチといったモノを混ぜた食品（加工納豆）として開発されて、市販されています。日本の納豆製品ほとんどがこの常陸太田産の納豆小粒を『国産挽き割り納豆』の原料として使っています。

地塚大豆

納豆小粒の兄弟なので、これも独特の匂いはあまりありません。もちろん冷凍保存も適していません。納豆小粒との違いは、大豆の甘味があるので他の食品と混ぜることはありません。それを活かして地塚大豆 100% 納豆が、市場にでています。この豆は、粒が小さいためコンバイン収穫ができず、1つ1つ手作業で、収穫から脱穀に至るまで行っています。もちろん、乾燥も天日干しなので、加工した豆に甘味がでるのかもしれません。「地塚大豆」が納豆の原料として人気があるのは、これらの丁寧な作業からきているのです。その中でも「常陸太田近辺産」はプレミアム物として契約栽培が多いようです。

常陸太田市は、山に囲まれ、その地形独特の温暖差が美味しい大豆を作りあげ、茨城県で生産量一番になり、また納豆の有名な処となったのでしょ。納豆用の豆も種類が多く様々に加工されているのを知り、「この納豆はどんな豆？」と大豆に興味・関心を持つようになりました。

（鈴木 久美子）



◀くめ納豆製 くんせい納豆

▼燻製作業中です



くんせい納豆は初めて封を開けた時は、納豆が熟されたニオイがして、「おっ納豆」と実感。でも口に頬張った瞬間にスモークチーズに似たニオイが広がります。製造がドライでないので豆にウエット感ありますが、ネバネバがないので食べやすいですよ。ビールや辛口のワインにあいます。

学び舎から 誉田幼稚園



「保育園児との交流をとおして」

卒園をまじかにひかえた3月、近くの宮の脇保育園の年長児18名が来園しました。

誉田幼稚園は、現在4才児、5才児の混合1クラスで8名という小規模園ではありますが、少しずつ動きだしている幼・小関連と教育の連続性をめざし、子どもたちは元気いっぱいに通園しています。



人とのかかわりが少なくなっているこの頃、このような交流ができることに感謝しています。子どもはもちろん、教師も育ちあえることにも満足しています。

今年度になってからは、4月に3才児から5才児の保育園児が幼稚園に遊びにきて、いっしょに楽しく遊んでいきました。6月には、今度は幼稚園児が保育園に遊びに行くことになりました。7月になればプール遊びが・・・・・。

子どもたちも、教師たちも待ち遠しいことが続くこの頃です。

子育て奮闘記

踊るママパラダイス ①⑨

雪の女王という童話があります。鏡の破片が目に入り冷たい少年になったカイが雪の女王に連れて行かれ友達のパルダが取り戻しに行きます。パルダの流した涙によって破片が取れ、カイは優しい少年に戻るといのお話です。

コースケが荒れました。元々人とコミュニケーションを取るのが苦手な彼が要求が通らないと悪口雑言を吐いて向かってきました。「嫌いだ」「ふん」「ほっといてよ」そんな言葉が私や応援してくれている学校の先生に突き刺さり心が冷たくなっていきました。いくら話をしようにも拒絶の構えのコースケに私も「それならママもコースケが嫌いだから。」と応酬しました。コースケの顔が陰しくなっていくのを怒りをもって眺めていたような気がします。コースケがカイ少年になってしまった…今の私はベルダになれない、そんな寂しい時期がしばらく続いた頃でした。

ある日いつものように私に向かって「ママなんかだいいきらい」と叫んだコースケに「そうか。でもママはコースケのことが大好きなんだけどね。」と言いました。こんなに愛してるのにね、と独り言みたいと言うとそれまで怖い顔をしていたコースケがこう言ったのです。「…でも僕、ママを嫌いっていつちゃったの。ごめんなさい。」

鏡の破片が取れた瞬間でした。優しいカイ少年を取り戻したようにユースケが帰ってきました。でも本当は鏡の破片が目に入っていたのは私。ユースケの素直さに救ってもらったのは私だったのだと思います。荒れていたのは私だった。肯定してもらえない子どもは伸びない、そんなこの育児書にでも載っていそうな事が感情的になっていると解らなくなります。逆に素直な気持ち一つで子どもが可愛く思える。今日はこう言っただけと私も明日はわかりません。またガミガミママになっているかもしれません。その時はまた子どもに教えてもらうのだと思う。反省の多い毎日です。

これは禁じ手でした…死んだフリ



常陸太田親子自然探索サークル

自然とふれあい、自然を体験し、
歴史を学び、ふるさと感じる
常陸太田は「地域まるごと博物館」



「この虫なんていうの？」

親子で常陸太田の自然や歴史を肌で感じてもらおうと、毎月第2土曜日に活動している、常陸太田親子自然探索サークル活動が、今年も400名を越える参加者により始まりました。指導者の先生と一緒に市内の各地域の自然の中を歩きながら、四季折々の植物や昆虫、野鳥等の観察、史跡の探訪など盛りだくさんです。



里川の生き物観察



クサボウキづくり



トウキョウサンショウウオの卵発見

月 日	内 容
5月8日	開講式と新緑の自然探索 (新緑の森林浴を楽しみながらふるさとの里山を観察しよう)
6月12日	自然の宝庫・高鈴山の探索 (山の幸ノイチゴ狩りと溪流探索とハコネサンショウウオとの出会い)
6月下旬頃	夜の棚田のホタル観察会 (日時はホタルの発生に合わせてお知らせします)
8月7日	里川の生き物の観察会 (里川にすむ魚類や水生昆虫の生き物を観察しよう)
9月12日	真弓山の自然・史跡探索 (希少な自然が残る真弓山探索と天然記念物爺杉をたずねてみよう)
10月9日	長谷溪流の自然探索 (溪流探索とめずらしいコトナド石などたくさんの岩石を観察してみよう)
11月13日	西金砂神社の紅葉と大祭礼の足跡探訪 (大祭礼行列の道を歩いて紅葉の西金砂神社を満喫しよう)
12月11日	耕山寺と国見山探索 (古刹耕山寺探訪と国見山を探索しわがふるさを見おろしてみよう)
1月8日	草ぼうきづくりにトライ (ホウキグサをとってぼうきをつくってみよう：伝統工芸の継承)
2月12日	佐竹地区探訪 (常陸佐竹氏のルーツ探訪と黄門様の歩いた道をたどってみよう：佐竹寺、馬坂城跡、鶴が池など)
3月12日	久慈川と里川の堤防探索と閉講式 (早春の堤防探索と自分で摘んだ早春山菜のテンプラを味わおう)

この活動の指導者の方が言っていました「通学路は自然の博物館だ」と。私たちのふるさと常陸太田は自然と歴史の宝庫です、自分の住むまちを良く知り、それを五感として感じる事が、この地で楽しく生きていく「こつ」なのではないでしょうか。

歩くことは発見にもつながります。皆さんも皆さん自身の足で常陸太田を歩き新たな感動を発見してみてはいかがでしょうか。

【問い合わせ先】

常陸太田市生涯学習センター企画事業係 0294 (72) 8888



早春山菜のテンプラに舌つつみ



真弓神社で一休み

『おいら(常陸太田)は、 どしたら食ってげっぺ!?!』

みんなで新市のまちをつくらう!!

食う＝この地域で生きていくこと・・・超高齢化・人口の極端な減少・財政赤字などなど、10年後・20年後の私たちのまちの将来を見据え、のんびりと構えていられる時ではないことを認識し、地域、そして自分自身が生き残っていけるかどうか・・・?

そんなテーマでみんなで楽しくワークショップいたしましょう!

日 時 平成 16 年 6 月 19 日 (土)
午後 5 : 00 ～受付開始 午後 5 : 30 ～開会
場 所 常陸太田市市民交流センター
(パルティールホール) 多目的ホール

*参加申込み FAXにて、お名前、ご住所、お電話、その他、所属団体などあればご記入の上、6月12日(土)までにお申し込み下さい!!

FAX : 0294-72-5421

お問合せ先

社団法人 常陸太田青年会議所
新市のまちづくり委員長 090-2671-0898 梶まで



フラワーロード実行委員及び 一般の参加者を募集します

市役所付近の国道349号線沿いにあるフラワーロードは、初夏の名物にもなっていて、毎年色とりどりの花々でドライバーの目を和ませてくれています。

このフラワーロードは、みどりの会、4Hクラブ、常陸太田青年会議所、商工会青年部などの各団体の協力を得て成り立っている実行委員会が運営をしています。

今年は、一般の方々から熱意ある実行委員を募ります。花が好きな方でしたらどんな方でも結構です。実行委員として携わっていただける方は、どんどん応募ください。

また、一般の方々の区画参加者も募集しております。応募者は、いずれも5月下旬頃まで下記にご連絡ください。

美しい太田の景観を一緒につくりましょう。

お問合せ先

フラワーロード
実行委員長 富 永
0294(72)2379



昨年の作業の様子

映画を
観にこよう

—— ウィークエンドシネマランド ——

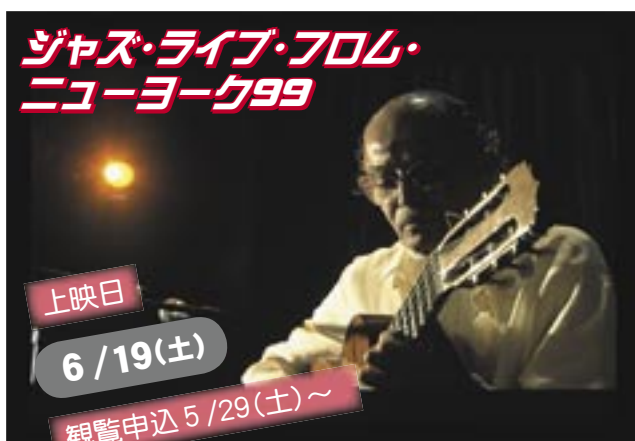
350インチ大画面ハイビジョン映画館にみんな集まれ ところ：生涯学習センターふれあいホール 入場無料(入場券が必要です)

ジャズ・ライブ・フロム・ ニューヨーク99

上映日

6/19(土)

観覧申込5/29(土)～



今年度から装いも新たに、毎月1作品を上映します。大ヒット作や通好みの作品など、ラインナップは充実しています。

ぜひ毎月1度、週末を地元で映画をみながらゆっくりとお過ごしになってはいかがでしょうか。

また、企画選定委員会手づくりの「シネマランド通信」を年3回発行します。上映作品の見どころやおすすめなどを掲載しますので、ぜひお手にとってご覧ください。
(シネマランド企画選定委員 山田 秀樹)

世界のクラシックファンからも注目されているラテン・ギターの巨匠バーデン・パウエルや、1972年「ラスト・タンゴ・イン・パリ」のテーマ曲がヒットし翌年のグラミー賞を受賞したガトー・バルビエリなど、現代のミュージック・シーンを知る上でジャズファン、ラテン音楽ファンの方々必見のライブ公演集である。(小島 功)



私たちが
企画選定委員です

映画館がなくなってさ
みしいと思っている常
陸太田の方々は、少し
も映画が身近に感じ
られる環境が作れたな
らな～と思っています。

生涯学習センター
家庭教育講座

「大人の寺子屋」の参加者を募集します

親や大人たちが、今を生きる子どもたちと同じ視点に立って子どもたちを考え、また、悩みや不安を相談しながら、家庭や地域で子どもたちを育むきっかけを探る講座です。ぜひこの機会に参加してみたいかがでしょうか。

《主催》

市教育委員会、市PTA連合会、子どもネットワーク研究会

《対象》

小中学生をお持ちの親及び小中学校の先生、子育てやまちづくりに関心のある方

《受講料》

2000円/年間（資料代として）

《場所》

生涯学習センター講座室等

《その他》

学習中に託児をいたしますので、託児を希望される方は申込の際にその旨をご記入ください。

《申し込み》

直接生涯学習センター窓口か、または、①講座名 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤託児の有無 を記入のうえ下記までハガキでお申し込みください。

《申し込み先又は連絡先》

生涯学習センター企画事業係
〒313-0061 常陸太田市中城町 3280 番地
電話番号 72-8888

日程等	学習内容	講師（敬称略）
6/19(土) 13:30～15:00	今、子どもたちは・・・ ～あなたの愛が子どもに伝わっていますか～	笠間日動美術館事務局長 中原 昭
7/17(土) 13:30～15:00	心をかよわす子育てとしつけ	親業インストラクター 遠藤 恵子
10/23(土) 13:30～15:00	正しくのばそう子どもの能力 (パート2) ※市 PTA 連合会指導者研修会	日本家庭教育学会副理事長 川越 淑江
11月下旬	市PTA連合会女性ネットワーク委員会研修会	未定
1月下旬	子どもたちにとって親父とは ～家庭、地域での親父の出番～	水戸少年刑務所刑務官 石月 利宏
2月下旬	今、親にできること よりよい親子関係のために	NPO 法人えじそんくらぶ 高山 恵子

※ 11 月以降の詳細日程は、参加者に後日お知らせします。

募 集 し ま す

フォonz20号
発行記念

2000 年 6 月に創刊いたしました生涯学習情報誌フォonzは次号で 20 号を迎えます。フォonzネットワークというボランティアによる手づくり情報誌として発行してまいりましたが、より市民の皆様に近い紙面づくりをめざし、以下の情報を広く募集いたします。写真などの印象的な作品に関してはフォonzの中で紹介させていただく予定です。お寄せいただいたすべての情報の中から、抽選で 20 名の方にフォonzで紹介した「常陸太田の美味しいもの引換券」をプレゼントいたします。なお、当選者は 7 月発行予定のフォonz 20 号で発表いたします。（詳細は次号）

締め切り 2004 年 6 月 30 日（水）必着

住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ下記まで

〒311-0061 常陸太田市中城町 3280

常陸太田市生涯学習センター内

フォonzネットワーク

TEL 72-8888

募集要項

①ふるさと常陸太田の好きな風景の写真

封書に作品を入れご応募ください。原則として作品は返却いたしません。デジタルカメラによる作品については掲載時にデータを借用することがあります。

②常陸太田への想いをつづった短歌・俳句など

はがきに作品をお書きの上ご応募ください。

③フォonzに対するご意見・ご感想など

はがきにお書きの上ご応募ください。



瑞竜小の桜と満月



アメリカ映画の 1 シーン?

写真はいずれも
市内金井町
根本龍司さん
撮影（投稿）

リレー
エッセイ 「思い出の絵本」 ～19～

(中城町 茅根 みどり)

絵本の魅力には、物語のおもしろさの他に、さまざまな美術的表現を楽しむことができます。その中でも、目や手で楽しむことのできる、しかけ絵本が私は大好きです。

この本は、男の子が「きいろいのはちょうちょ！」とおもって、あみをかぶせると、ひよこだったり、帽子だったり…と何度も間違えながら、ちょうちょをおいかけていく、おはなしです。しかけはごくシンプルで、ちょうの形の穴をあけてあるだけで、ページにあけられたカタチから前後の絵を見てストーリーが進んで行くというものです。抜き型を上手に裏切りながら変身するカタチ。単純ではあるのですが、気分の良いテンポで、見て、触って、考えて、好きな場面では何度ももどってみたりして。そのカタチの裏切りに、びっくりしたり、うれしくなったり、大笑いしたり、ページをめくる楽しさ倍増、自分も物語に参加しているような気分になる不思議な魅力のある絵本です。

我が家では(長女9才・長男5才)、この絵本を読み始めると、夢中になり、キャーキャーケラケラ大騒ぎです。話もカタチの展開もすでに覚えてしまっているのに…。子どもだけでなく、大人も一緒に楽しめる絵本で、きっと、笑えます。しかけ絵本の中でも、お気に入りの一冊です。

きいろいのは
ちょうちょ



(次回は幡町 杉浦 瑞穂さん)

ほつ
とひといき

オオゾウムシ
(オオゾウムシ科)



◀ H16.5.9
市自然休養村管理
センターで採集

ゾウムシとは写真をみれば納得するでしょう。象の鼻のように長く突き出した口吻がある。ゾウムシとの違いはゾウムシより大きいことと背中中の縦の黒いすじが見えることなどです。

ゾウムシは体長が15～20mm、オオゾウムシは20～30mm。成虫・幼虫とも草食性、クヌギ、ヌルデなどの樹液に集まり、夜間灯火に飛来する。

同じ仲間にはコクゾウムシがいる。近縁種にゾウムシ科、ミツギリゾウムシ科、オトシブミ科などがある。マツ、スギ、コナラ、シラカシなどの林に生息する。象鼻虫(ぞうびちゅう)ともいう。成虫は2～4年生きる。

(採集・文 桐原 弘)

ちよつとひといき

「五目かた焼きそば」

800円

昇竜

【定休日 日曜日】
東二町2238-1
☎72-0248



五目なんてとんでもない、10目それ以上ある具だくさんのかた焼きそばです。「他ではあんまりやってないんだよね、かた焼きそばは…」、職人を絵に書いたようなご主人と、気さくなオバちゃん切り盛りするお店は、昔懐かしい昭和の味。時間とともに麺が柔らかくなってしまうので、速攻で食べなくちゃいけないし、目いっぱいの大口を開けなきゃいけないのでお上品なんかどこかに忘れてきてください。パリパリの揚げた麺を、お箸の向きをあちこちしながら口の中に放り込むと、さくさくの食感がたまりません。旅先で名物を食べたいと思った時は、地元の人に聞くのが一番だそうです。地元で長く愛される味に間違いありません。(塩原 慶子)

耳寄り
情報

魚沼産とも並ぶ

「太田のコシヒカリは 特A なんだぞ～」



常陸太田のあちこちで見られる美しい田園風景。その田んぼから作られるお米が実はかなりのおいしいものと皆さん、ご存知でしたか？平成15年度の穀物検定協会食味ランキングで県北地域のコシヒカリが「特A」になったのです。これはお米で有名な新潟の魚沼産とも並ぶ味だということです。普段、何気なく見ていた田んぼには実は素晴らしい宝物が隠されていたのです。今年も田植えが終わって青く、小さな苗が風に揺られています。今年の秋にはまた黄金の穂が田んぼで輝くことでしょう。(萩谷 浩司)